TOSHIBA
Leading Innovation

２０１１年３月１５日
東芝メディカルシステムズ株式会社
サービス本部　サービス部

X線診断装置　計画停電時の対応について

謹啓
　平素より弊社Ｘ線診断装置（以下「本装置」と表記）をご使用いただき誠にありがとうございます。この度は、東北地方太平洋沖地震による、電力需給対応としての計画停電に伴う本装置の障害を最小限にするため、事前に本装置の停止／起動を行う方法に関し下記のとおりご案内させて頂きます。

謹白

－記－

１．計画停電時におけるＸ線診断装置ご使用上の注意について

＜計画停電前の作業について＞

装置のトラブルを最小限とするために、停電する前にシステム全体の電源をシャットダウンして下さい。

① 計画停電の開始時刻１０分前までに、検査を終了して下さい。
② システムにより完全に停止するまで約５分程度かかる場合がありますので、計画停電の開始時刻の５分前までに、システム全体の電源を通常通りの手順でシャットダウンして下さい。
③ デジタルラジオグラフィ装置とＸ線高電圧装置の電源が独立している場合は、それぞれの電源をＯＦＦして下さい。
④ Ｘ線高電圧装置の電源スイッチにデジタルラジオグラフィ装置の電源が連動している場合は、Ｘ線高電圧装置の電源をＯＦＦして下さい。
⑤ ＩＤカードリーダ、ワークステーションなどのオプション製品についても、それぞれの電源をＯＦＦして下さい。

＜計画停電復帰後の作業について＞

① 配電盤ブレーカ及び周辺機器を接続している壁コンセント（AC100V系）への通電をご確認いただいた後で、システム全体の電源を起動して下さい。
② ＦＰＤを使用していない装置においては、システムが立ち上がりましたら、装置が正常に作動することを確認するため、装置に付属の取扱説明書をご参照いただき、始業点検を実施してからご使用下さい。
③ ＦＰＤ（Ｘ線平面検出器）を使用した「循環器Ｘ線システム」においても、システムが立ち上がりましたら、装置が正常に作動することを確認するため、装置に付属の取扱説明書をご参照いただき、始業点検を実施してからご使用下さい。
④ ＦＰＤ（Ｘ線平面検出器）を使用した「Ｘ線ＴＶシステム」において、１７インチＦＰＤ（ＴＦＰ－１７００Ａ形）を組合せている場合においては、ＦＰＤの温度が安定するまで３～４時間程度お待ちいただくことがあります。
　但し、直ぐに使用しなければならない状況下においては、ご使用いただくことも可能ですが、透視/撮影画像上に、短冊状/線状/点状のアーチファクトを認めた場合は、下記の手順でキャリブレーションを実施して下さい。
　（手順）
　アプリケーションのＴＯＰメニューから、下記の項目を選択する。
　【ＦＰＤ制御】 → 【オフセット校正】 → 【全パラメータ設定】
　※キャリブレーションが終了するまで約３分程度の時間を要します。

⑤ ＦＰＤ（Ｘ線平面検出器）を使用した「デジタル一般撮影システム」において、TFP-4600A形を組合せている場合においては、ＦＰＤの温度が安定するまで３～４時間程度お待ちいただくことがあります。但し、直ぐに使用しなければならない状況下においては、ご使用いただくことも可能ですが、テスト撮影を行ない、収集した画像に問題が無い事を確認の上ご使用下さい。

＜計画停電以外の停電が発生した場合の対処について＞

① 予期せぬ停電によりシステムの電源がＯＦＦされた場合においては、停電復帰後に通常の電源ＯＮ操作でシステムを再起動して下さい。
② 再起動にあたっては、通常の電源ＯＮの操作を行ってください。
③ また、画像収集中あるいは画像転送中に停電が発生した場合は、画像収集や転送が正常に終了していない可能性があります。　その場合は、画像を確認の上、正常に処理されていない画像については、再度、画像収集もしくは転送処理を行ってください。
④ なお、Ｘ線診断システムは大容量の電力を消費するものが殆どですので、自家発電装置では正常に使用することができない場合があります。

ご不明な点は、最寄りのサービスセンタにご連絡いただけますようお願いいたします。

以上